

肉用牛飼養農家への緊急立ち入り調査について

1. 福島県において平成23年7月11日～7月17日に、県内の計画的避難区域等のすべての牛飼養農家に対し、立ち入り調査を実施。

2. 調査対象戸数及び肉用牛頭数

戸数:511戸(うち、肥育農家戸数314戸)

頭数:33,774頭(うち、肥育牛25,955頭)

3. 調査結果

放射性物質に汚染された稲わらの使用が確認された農家
25戸(給与17戸、敷料8戸)

うち、肉牛出荷が確認された農家数14戸

汚染稲わらを給与され、出荷された肉牛554頭

該当市町村:10市町、14戸(伊達市では該当農家はなし)

4. 伊達市内の畜産農家に対する調査

7月15日、農林課が市内農家に対し電話での聞き取り調査を実施した
畜産農家32戸(うち、震災により廃業した農家3戸)

肉用牛636頭

回答があった29戸のうち、

去年の稲わらを給与している農家	15戸
-----------------	-----

敷わらとして使用している農家	1戸
----------------	----

震災以前に屋内保管している農家	3戸
-----------------	----

購入(酪農協)したわらを給与している農家	1戸
----------------------	----

未回答	9戸
-----	----

5. 今後の予定

本日より伊達市と県北家畜保健衛生所で、市内すべての畜産農家を訪問して調査する。

内容は、粗飼料の管理状況、水の引水状況、給与飼料の放射線量(希望農家)、当面の出荷計画等

7月2日から行なっていた富成小学校での除染実証実験、18日で終了。廃棄物がかなり出た。大型の収納バッグ50個程度体育館裏に「仮置き」。やはり廃棄物の管理が課題となる。

7月9日下小国区民会、14日富成地区町内会長会に、除染についての話をさせてもらった。いろいろと意見が出たが、一定の理解をしてもらった。市民の皆さん、放射線についての知識が十分ではないようだ。廃棄物の理解も含め、ていねいな説明が必要と感じた。

除染に関する学習会

日 時		場 所	プロジェクト・チーム		書記(議事録)	摘 要
21日	木	10:00～	半澤 隆宏	岡崎 馨		
		13:30～		宮島 康夫		
22日	金	10:00～		荏澤 光紀		
		13:30～		小野 正典		
25日	月	13:30～		菊田 修		

田中先生による放射線、除染に関する講演がありますので、職員の皆さんも聴講願います。

今後、20日の議会以降、民家での除染実験も行っていく予定。引き続き、学校についても、小国小学校などの除染を進めていく。上記の学習会なども含め、市民の理解・協力もいただきながら除染につなげていく。

7月19日

市災害対策本部提出資料

平成 23 年 7 月 19 日

【放射能健康管理対策プロジェクトチーム】

1 積算線量計の配付について（ガラスバッチ） 約 8,550 人

妊婦・乳幼児・園児・小学生・中学生を優先対象とし、日常生活の放射線量を測定し確認することにより、子ども及び保護者の放射線に係る早期の不安解消を図る。

① 妊産婦・乳幼児・未就学児への配布

配付時期 平成 23 年 7 月 29 日（金）～平成 23 年 7 月 30 日（土）

配付時間 平成 23 年 7 月 29 日（金）午前 9 時から午後 7 時

平成 23 年 7 月 30 日（土）午前 9 時から午後 5 時

（配付場所）伊達地区：ふるさと会館 1 階 研修室、梁川地区：梁川分庁舎 1 階会議室

保原地区：保原本庁舎 1 階シルクホール、霊山地区：霊山総合福祉センターロビー

月舘地区：月舘総合支所 展示ホール

② 保育所・幼稚園への配付

配付時期 平成 23 年 8 月 1 日（月）

配付場所 各保育園、各幼稚園

③ 小学校・中学校への配付

配付時期 平成 23 年 7 月 28 日（木）～平成 23 年 8 月 2 日（火）

配付場所 各小学校、各中学校

④ 特定避難勧奨地点への配付予定（配布対象地区：上小国地区、下小国地区、石田地区 坂ノ上、八木平、相葎地区、約 1,450 人）

配付時期 平成 23 年 8 月下旬

配付場所 未定

2 積算線量計の測定期間について（基本…1年間を通じて測定）

① 第 1 回の線量計の測定期間

■ 平成 23 年 8 月 1 日～平成 23 年 8 月 31 日（1ヶ月間）

② 第 2 回線量測定期間

■ 平成 23 年 9 月 1 日～平成 23 年 11 月 30 日（3ヶ月間）

3 測定後の対応について

① 回収した積算線量計を委託業者へ送付し、個人のデータを算出する。

② 測定結果を対象者又は保護者へ配布する。

積算線量計の測定結果が出た場合、測定結果を適正に分かりやすく伝えることを目的として、市政アドバイザー宍戸先生からアドバイスいただく。また、委託業者から雛型の提示・内容の説明をいただき、測定結果の説明書を作成する。

4 積算線量計の結果分析管理について

データの分析・活用・管理方法について、研究機関（大学等に）へ協力依頼をする。